

6.5億円の 茶番劇

- コロナ雇用調整助成金・不正受給事件
- 10人の会社が70人に増殖?
- 私たちの税金が溶けた呆れた錬金術



被害総額 1,139億円

- 氷山の一角に過ぎない事件の実態
- 厚労省発表の支給取消：4,557件
- コロナ対策の名目で失われた桁違いの公金



虚偽の 増殖魔法

- 【実態】
実際の従は10人未満
- 【手口】
知人の名義を無断借用し
60~70人に偽装
- 【期間】
3年間に及ぶ架空申請
- 【当事者】
旅行会社「JCIT」



すり抜けた ザル審査

- 2021年夏の厚労省調査を
「完全スルー」
- スピード優先で実態確認はゼロ
スピード優先で実態確認はゼロ
- 虚偽の書類1枚で引き出される
私たちの税金



欲の皮の 仲間割れ

- 行政の監査ではなく「内輪揉め」で自滅
- 発覚の発端は
発覚の発端は
2023年5月
- 内部の人間が「取り分をもらえず」
警視庁へ駆け込む



豪遊と 光熱費滞納

- 【使途】高級マンション、
山梨県の広大な土地、
高級車
- 【裏の顔】税金・光熱費・
忘年会費用は滞納
- 事業維持の経費すら払わず
ず、督促状が届く経営実態



表面的な情報に 騙されない

- 華やかなアピールの裏に
潜む「不正」を見極める
- 公的資金の用途に対する
厳しい監視の目を持つ
- 冷静な事実に基づく判断で、
資産を守り抜く

